



NPO 法人 北海道みなとの文化振興機構

もくじ

第18回 理事会・通常総会……………1	「みなとまち活性化イベントの助成事業」の募集……………7
みなとパネル展……………3	「着ぐるみ貸付事業」の紹介……………7
第17回 みなと座談会……………4	令和3年度 役員・事務局・支部体制……………8
助成活動……………5	事務局連絡方法……………8
北海道開発局防災エキスパート(港湾・空港・漁港)……………6	

第18回 理事会・通常総会

第18回理事会・通常総会は、令和3年2月17日(水) (一社)寒地港湾空港技術研究センター(セントラル札幌北ビル5階)会議室で開催しました。

今回は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、総会の規模を例年より縮小し、最小限の人数で開催するため事前に議案書と出欠はがき(総会用、理事会用)を正会員(個人・団体)の皆様方へ郵送し、理事会5名、総会7名で開催しました。

理事会は理事定数14名の内、出席者3名(書面表決者11名)、通常総会の出席者は、個人会員173名、団体会員59団体の内、委任状提出者を含めて168名の出席で正会員総数(232名)の1/2以上で開催しました。

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から最小限の人数として、例年のNPO法人北海道みなとの

文化振興機構会長や来賓者を招かず、通常総会を開催しました。



理事会

通常総会は、中村理事長を議長に選出して、第1号議案から第5号議案まで審議されました。

議案内容について下記のとおり承認されました。

第1号議案（令和2年度事業報告）

1 定款の事業名 港への理解と利用促進に係わる広報活動及び支援

(1)みなとサポート業務

「みなと見学会」等は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため全て中止となりました。

(2)みなとパネル展

令和2年12月11日(金)「ザ・シンポジウムみなと in 札幌」の開催に協賛し、また、実行委員会の支援を得て京王プラザホテル札幌で開催し新型コロナウイルス感染拡大防止のため Web によるライブ配信で行われました。

(3)広報誌「伝言板」の発刊

33号を令和2年4月、34号を令和2年11月に発刊しました。

(4)着ぐるみ（「ぽーとん」くん・「べいくりん」ちゃん）貸付事業（有償）

新型コロナウイルス感染拡大防止から予定したイベントが中止となり利用要望はありませんでした。

(5)記念グッズの配布（無償）

助成事業等から要望のあった箇所へノート、ボールペン&マーカー、着ぐるみシールを配付しましたが、新型コロナウイルスの影響でイベント及びサポート支援事業が中止となり例年に比べて配布量は少ない状況でした。

(6)港への理解に係わる情報収集及び調査研究

道内の港湾・漁港所在地において使用している社会科副読本を収集整理するとともに、活用に当たっての課題や活用実態等のヒアリングを行い整理し取りまとめました。

2 定款の事業名 港湾・空港・漁港の防災業務及び災害復旧に係る活動・支援

(1)防災エキスパート支援

①令和2年9月1日(火)根室市総合防災訓練（根室港花咲地区東埠頭-10m岸壁）

防災エキスパート 東地区担当 5名参加

②令和2年11月6日(金)北海道開発局防災エキスパート（港湾・空港・漁港）の認証式
新規登録者 2名

3 定款の事業名 まちづくりの推進を図る活動等に関する情報収集

(1)みなと座談会

令和2年11月に札幌市で開催を予定しましたが、新型コロナウイルスの感染が拡大している状況から中止としました。

(2)ネットワーク強化

令和2年7月17日(金)当機構の支部長等会議を開催。(19名参加)

(3)情報収集

4 定款の事業名 その他、目的を達成するために必要な事業

(1)助成活動

令和2年度は一般分7事業、特定分2事業に助成が決定しましたが、特定部2事業、一般分1事



総会



総会審議

業は新型コロナウイルス感染防止のため中止となりました。

第2号議案（令和2年度特定非営利活動に係る収支決算報告並びに監査報告）

第3号議案（令和3年度事業計画）

- 1 定款の事業名 港への理解と利用促進に係わる広報活動及び支援並びに港への理解に係わる情報収集及び調査研究
 - (1)みなとサポート業務
 - (2)みなとパネル展
 - (3)広報誌「伝言板」の発刊、ホームページの充実
 - (4)着ぐるみ貸付事業（有償）
 - (5)記念グッズの配布（無償）
 - (6)港への理解に係わる情報収集及び調査研究

- 2 定款の事業名 港湾・空港・漁港の防災業務及び災害復旧に係る活動・支援

- (1)防災エキスパート支援

- 3 定款の事業名 まちづくりの推進を図る活動等に関する情報収集

- (1)みなと座談会
- (2)ネットワーク強化
- (3)情報収集

- 4 定款の事業名 その他、目的を達成するために必要な事業

- (1)助成活動

第4号議案（令和3年度収支予算計画書）

第5号議案（役員選任について 敬称略）

退任理事 宮崎 英樹 新任理事 藤田 幸洋

みなとパネル展

NPO 法人北海道みなとの文化振興機構は、一般市民に「みなとの役割、暮らしとの関わり合い」を広く理解していただくため、毎年「ザ・シンポジウムみなと（ザ・シンポジウム みなと実行委員会）」の開催に協賛して、実行委員会の支援を得て「みなとパネル展」を企画、開催しています。

令和2年度の「ザ・シンポジウムみなと in 札幌」は、会場 & Web の同時開催の予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の急拡大を受け、参加者及び関係者の安全安心のため、全面 Web 開催に切り替え、札幌会場の京王プラザホテル札幌と東京会場の2箇所から「新エネルギーを担う北海道のみなと～北海道における洋上風力発電の円滑な導入に向けて～」をテーマに令和2年12月11日（金）14時からWebによりライブ配信されました。

パネル展は、京王プラザホテル札幌エミネンスホールでの展示と休憩時間のビデオ上映で行われ、

札幌会場のスタッフや Web 参加の皆様に見ていただきました。

パネル展の内容は、当機構から「NPO 活動状況の紹介と設立までの経緯」などのパネル2枚、「日本の洋上風力発電導入に向けた取組み」「世界における洋上風力発電導入の動き」「港湾における水素エネルギーの活用」のパネル3枚、「北海道の港湾の整備状況」のパネル12枚が展示されました。

今回のパネル展開催にあたり、北海道開発局の皆様のご理解とご協力に厚くお礼申し上げます。

パネル展示状況

第17回 みなと座談会

当機構は平成16年度から、みなとまちの地域づくりについて考える「みなと座談会」を女性の視点から考え活動している「北海道みなとまちづくり女性ネットワーク」と共催し、各地域で意見交換会を開催しています。

1回目の函館市から始まり、釧路、室蘭、稚内、広尾、留萌、苫小牧、函館、室蘭、紋別、釧路、札幌、稚内、室蘭、留萌、昨年の第16回は苫小牧市で11月16日に開催されました。

第17回にあたる今年は、新型コロナウイルス感染症拡大が続く状況であったため、「北海道みなとまちづくり女性ネットワーク」の皆様の安全確保のため中止としました。

新型コロナウイルスの感染拡大が収まらない状況で、各地の「北海道みなとまちづくり女性ネットワーク」においても予定されていた活動を中止とした箇所も多くありましたが、函館ではネットワークメンバーが、「道道函館空港線 水やり活動」（7月16日）、「函館駅前広場花壇 撤去活動」（10月20日）

に参加しました。また、釧路では「釧路みなとオアシス協議会 清掃活動」（10月16日）に参加しました。

「みなと座談会」では各地の活動について報告をいただいていたことから、これらの活動状況等の資料を各地の女性ネットワークに送付いたしました。

みなとまちづくり女性ネットワーク

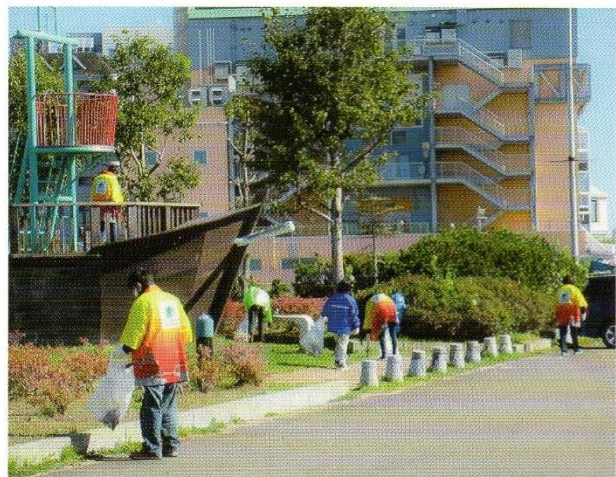


道道函館空港線 水やり活動



函館駅前広場花壇 撤去

釧路港おもてなし倶楽部



岸壁沿いでの清掃



MOO～耐震・旅客ターミナル草取り

助成活動

道内のみなとまちの活性化を目指し、企画・実施されるイベントなど、みなとまちで実施される様々な事業を支援し、さらなる「みなとまちの活性化」に寄与することを目的に「助成事業」を平成20年から実施しています。

13回目となる今年度は、評価審査において一般の部7件と特定の部2件の9事業が採択されておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大を受け多くの事業が中止を余儀なくされました。

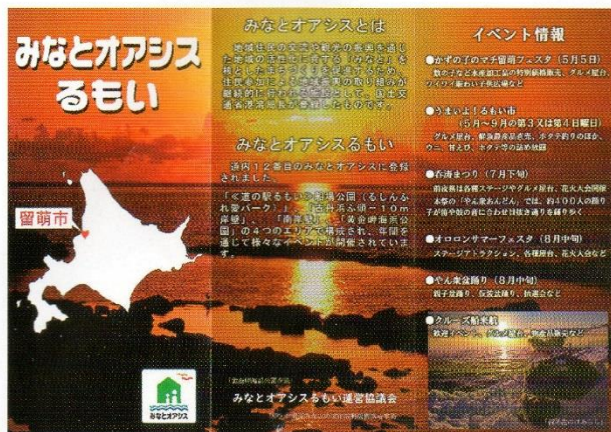
このような状況の中、「みなとオアシスるもい運営協議会」より応募のありました「みなとオアシスリーフレット作成事業」について、作成の報告がありましたのでお知らせいたします。

また、女性みなと街づくり苦小牧(大西育子代表)では、3月13日(土)に「コロナに負けるな!みなとコンサート」を苦小牧市内の公設地方卸売市場の水産棟で開催しました。

例年はクリスマスコンサートを応募して西港フェリーターミナルで開催していましたが、今年度は新型コロナウイルスの感染拡大から規模を縮小し、マルトマ苫小牧卸売の協力で天井も高く広々とした空間での市場コンサートの実現となりました。

苫小牧東小学校プラスバンド同好会が楽器を演奏して、家族や市場関係者など80人が楽しいひと時を過ごしました。

大西代表は「コロナ禍でイベント開催もいろいろな対策が必要だが、未来を担う子供たちの頑張りを応援していきたい」と話していました。



みなとオアシスるもいリーフレット



コロナに負けるな!みなとコンサート

北海道開発局防災エキスパート (港湾・空港・漁港)

○新規登録者認証式

令和2年11月6日(金)北海道開発局港湾空港部長室において防災エキスパート新規登録者認証式が行われました。

今年度は2名の方が港湾空港部幹部立会の中、魚住 聡港湾空港部長より登録通知証の交付を受けました。

これにより今年度の防災エキスパート登録者は35名となり、今後本体制で活動していくことになり

ます。

なお、例年認証式後に開催しております防災エキスパートの研修会につきましては、新型コロナウイルス感染症防止のため今年度の開催を見送ることといたしました。

防災エキスパートの皆様には今後開催される訓練や研修会にご参加をいただき、災害が発生した際には皆様の豊富な知見、経験を生かし復旧活動にご協力をお願いいたします。



防災エキスパート新規登録

「みなとまち活性化イベントの助成事業」の募集

NPO 法人「北海道みなとの文化振興機構」では、当機構の目的の一つである「港の効果的、効率的利用の促進や港を核としたまちづくりに係る広報事業を支援する」を図るため助成事業の募集を行います。令和3年度の助成事業応募要領は下記のとおりです。

助成事業募集要領

(1)応募要件

道内でみなとまちの活性化をめざし企画・実施されるイベント等において、令和3年度に実施予定の本助成を希望する事業とする。

(2)募集期間および応募方法

募集期間は令和3年4月1日(木)から5月7日(金)までとし、助成を希望する団体は必要事項を記入の上、応募様式を提出する。

(3)助成金額

1件当たり助成金額は15万円を限度とし、みなとの活性化の効果の大きいと考えられる数件を選定する。

(4)評価審査委員会の設置

応募された助成希望の事業について、審査を行う機関として設置する。

評価審査委員会は当NPO法人理事長の指名により構成する。

評価審査委員会の事務は当NPO法人事務局が行う。

評価審査委員会は本年5月中旬に開催し、助成を希望する事業について審査し、採択する。

審査結果については、5月下旬に郵送で通知する。また、当NPO法人のホームページ上で公表する。

(5)助成金の支払い

助成金については、助成を受ける団体等に対し、イベント等の開催の2週間前までに支払う。

(6)助成を受ける団体の義務

活動を実施するにあたって、「NPO法人北海道みなとの文化振興機構助成」をうけている旨を明示すること。

(7)報告

実施結果については、実施後速やかに報告様式により提出すること。実施写真を2枚以上添付すること。

(8)応募様式及び報告様式は、当NPO法人ホームページを参照願います。

「着ぐるみ貸付事業」の紹介 (みなとのマスコット「ぼーとん」くん、「べいくりん」ちゃん)

北海道のみなとのキャラクター「ぼーとん」くん、「べいくりん」ちゃんの「着ぐるみ」は、みなとが担う役割を多くの皆様にご理解いただくとともに、海やみなとに集う皆様が楽しく過ごしていただくお手伝いキャラクターとして制作しました。海の上を自由に謳歌するかもめを題材に「小さな赤ちゃんかもめ」をイメージした可愛い「着ぐるみ」です。

平成11年に1号を制作し、好評を得たことから2号、3号と制作、平成25年に4号を制作、現在4組を保有し皆様にご利用いただいております。

「ぼーとん」くん、「べいくりん」ちゃんは、NPO法人北海道みなとの文化振興機構が商標登録を行っ

ております。尚、「着ぐるみ」は、有料とさせていただいております。



「ぼーとん」くん・「べいくりん」ちゃん



令和3年度 役員・事務局・支部体制

令和3年度「特定非営利法人北海道みなとの文化振興機構」役員・事務局・支部体制について

(敬称略)

役員

役職	氏名
会長	栗林定正
理事長	中村信之
理事	岩倉博文
理事	藤田幸洋
理事	高橋喜一
理事	上原泰正
理事	百瀬治
理事	栗田悟
理事	川合紀章
理事	笹島隆彦
理事	眞田仁
理事	大西育子
理事	片石温美
理事	福岡康宣
監事	吉本靖俊
監事	中内勲

事務局

役職	氏名
事務局長	福岡康宣
事務局次長	東志郎
事務局次長	高木哲夫
事務局次長	三原一憲
事務局次長	斉藤賢悦
事務局次長	大前豊
事務局次長	高田稔年
事務局次長	秋葉洋一
事務局次長	宮部秀一
事務局次長	渥美洋一
事務局次長	鈴木一行
事務局次長	上川功一

支部

役職	氏名
札幌支部長	石島隆司
札幌支部次長	澤合英治
函館支部長	川村求
函館支部次長	鈴木勝晴
苫小牧支部長	秋葉洋一
釧路支部長	本間久雄
釧路支部次長	佐藤浩彰

事務局連絡方法

当機構事務局への連絡は、下記のいずれかをお願いします。

Tel : 011-727-3710 Fax : 011-727-3710 E-mail : bunka-npo@kanchi.or.jp

なお、事務局は、常駐体制でないことから、ご返事を差し上げるまで一週間程お時間をいただくこともございますので、何卒ご了承をお願いします。

また、当機構の活動状況は、ホームページでご覧になることができます。

<http://www.minatobunka-npo.info/>

特定非営利活動法人

北海道みなとの文化振興機構

〒001-0011 札幌市北区北 11 条西 2 丁目 2 番 17 号
セントラル札幌北ビル 5F